

サステナビリティへの取り組みに関する方針

～地域を徹底的に支えることで、地域全体の持続的な成長を目指します～

地域金融機関の存続は地域経済・地域社会の持続可能性と一体にあります。当行では、「ESG経営はリレーションシップバンキングそのものである」という考えのもと、リレバンに取り組んでいます。

本業や地域貢献活動を通じて地域・お客様の課題解決に取り組むことで、SDGs実現に貢献し、地域・お客様・当行ともに成長していく持続可能な地域社会の実現を目指します。

地域全体の持続的な成長

地域を徹底的に支える

マテリアリティ

	取り組むべき重要課題	具体的取組内容
Environment 環境	環境ビジネスの取り組み	環境関連ファイナンス・投資
	気候変動への対応	TCFD提言への賛同
	環境負荷の低減	温室効果ガス排出削減
Society 社会	地域の事業の存続・成長	リレバン活動を通じた地域の徹底支援
	安心安全な社会の形成	安定した金融インフラを全てのお客様に提供
	地域社会への貢献	幅広い社会貢献活動の展開
	地域・お客様のSDGs/ESG後押し	新サービスの開発
	ダイバーシティ推進	多様な人材の活躍をサポート
Governance 企業統治	グループガバナンス強化	グループ連携の強化
	リスク管理の強化	各種リスク管理態勢の高度化

リスクと機会

お客様、地域、金融機関にとってのリスクと機会 (P16)

外部環境

以前からの潮流 + 新型コロナウイルス感染拡大を契機とした急速な社会構造の変化 (P16)

サステナビリティへの取り組みに関する方針

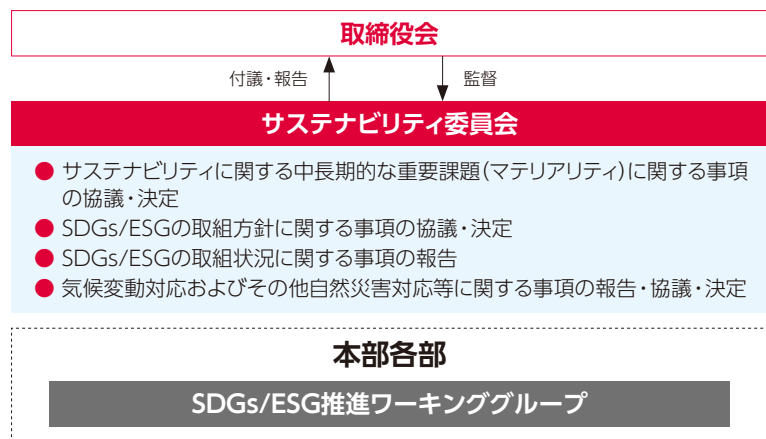
サステナビリティ宣言

山陰合同銀行グループは、国連の定めた持続可能な開発目標 (SDGs) の趣旨に賛同し、地域の課題解決に取り組むことで、持続可能な地域社会の実現を目指します。

サステナビリティ宣言 <https://www.gogin.co.jp/about/csr/sustainability/>

組織体制(サステナビリティ委員会)

SDGs/ESGへの取り組みを推進していくため、2021年5月に頭取を委員長とするサステナビリティ委員会を設置し、ガバナンスを強化しています。また、本部各部からなるSDGs/ESG推進ワーキンググループを設置し、気候変動への対応をはじめとする組織横断的な取り組みを実行しています。



サステナビリティに関する方針

環境に関する取組方針

山陰合同銀行グループは、社会の健全な発展なくして存続できないこと、持続可能な社会の存続が基盤であることを自覚し、社会とともに歩む良き市民として、自然豊かな環境を次世代へ引き継ぐため、積極的かつ継続的に環境保全活動に取り組んでまいります。

環境方針 <https://www.gogin.co.jp/about/csr/environment/>

人権に関する取組方針

山陰合同銀行グループは、お客様・従業員をはじめ全てのステークホルダーの基本的な人権が尊重される企業風土・職場環境の醸成に取り組めます。

人権方針 <https://www.gogin.co.jp/about/policy/humanrights/>

投融資方針

山陰合同銀行グループは、国連の定めた持続可能な開発目標の趣旨等を踏まえ、本業を通じた持続可能な地域社会・地域環境の実現のため、投融資において積極的に取り組む分野と取り組みを回避する分野について方針を定めます。

■ 投融資方針では「積極的に取り組む分野」のほか、環境・社会に対して大きな影響を与えられとされる特定セクターに対し、以下の方針を定めています。

特定セクターに係る取組方針

- ① 生物化学兵器やクラスター弾等の兵器を開発・製造・所持する先に対する投融資は行いません。
- ② 石炭火力発電所の新規建設を資金使途とする投融資は原則行いません。
- ③ パーム油農園開発に対する投融資は、認証取得状況等を確認した上で慎重に検討します。

投融資方針 <https://www.gogin.co.jp/about/csr/investmentandloan/>